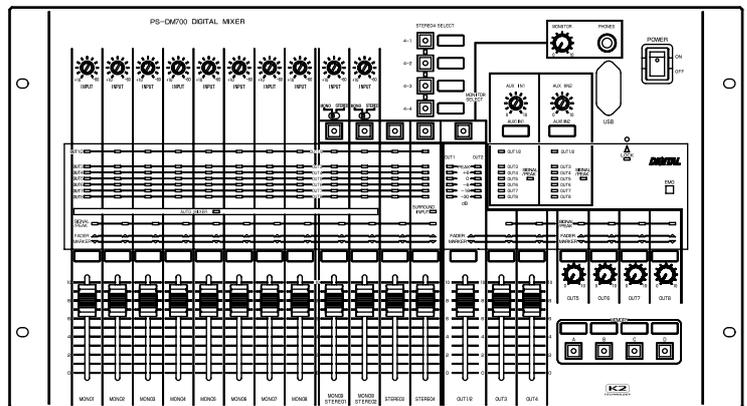


# JVC

## デジタルミキサー / ミキサーコントローラー

型名 **PS-DM700**  
**PS-MR50**

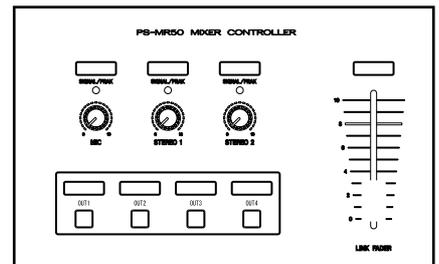
取扱説明書



デジタルミキサー  
PS-DM700



お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。  
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。



ミキサーコントローラー  
PS-MR50

## 特長

### デジタル音声の音質向上を迫及する K2 テクノロジー

K2 テクノロジーは、デジタル信号の伝送過程やメディアに起因する音質劣化の要因を解消させ、自然な再生を可能にするコーディング技術です。

### CC コンバーター搭載

当社独自の Extended K2 技術から生まれた CC コンバーターを搭載しています。

アナログ信号をデジタル信号に変換 (A/D 変換) する際に発生する量子化歪みを軽減するために、音楽性見地からリアリティー再現する「リアルアルゴリズム」を考案し、独自のハイサンプリング技術でデジタル信号を生成する技術です。

### オートミキサー搭載

#### ■ 暗騒音の低減

複数のマイクロホンを使うときに発生する暗騒音 (アナウンスしていないときのノイズ) を低減する機能を搭載しています。

#### ■ NOMA 機能搭載

マイクの本数によってゲインを可変する NOMA (Number of Open Microphones Attenuated) 機能を搭載し、ハウリングの発生しにくい拡声ができます。

### 5.1CH サラウンド音声入力に対応

DVD などの 5.1CH サラウンド信号を 1 本のフェーダーでコントロールすることができます。

### 16 パターンメモリー搭載

多用する設定をパターン化し、メモリーに記憶することで設定変更への対応が簡単にできます。

### ミキサーコントローラー (PS-MR50/別売) による遠隔入力 / 制御可能

入力信号 (マイク入力、音楽入力) や、出力選択、音量調節などを離れた場所から操作することができます。

### 多彩なパラメータープリセット型デジタルプロセッサー内蔵

#### ■ コンプレッサー

MONO 入力と OUT1 ~ 4 に高音質のコンプレッサーを搭載しています。マイク落下などの荒っぽい操作による不快な音の軽減と過大な信号からシステムの破損を保護します。

#### ■ イコライザー

- MONO/STEREO 入力系統に、LOW、MID、HIGH のイコライザーを搭載しています。
- OUT1 ~ 8 の出力系統は 6 素子のパラメトリックイコライザーを搭載しています。  
パラメトリックイコライザーは、設定することでフィルターやシェルビングタイプになり、スピーカーの特性や音場の伝送特性を補正することができます。

#### ■ ハウリングサプレッサー

- 自動設定できる 4 素子のプリセットフィルターを搭載しています。  
また、運用中に発生するハウリングには、プリセットフィルター 4 素子に加え、2 素子のアクティブフィルターが音声信号を常時監視し、ハウリングを自動抑制します。

#### ■ アナウンスミュート

指定した MONO 入力に音声信号が入ると、STEREO 入力への音声信号レベルを設定した音量分ミュート (減衰) することができます。

#### ■ ディレイ

OUT1 ~ 8 にデジタルディレイを搭載しています。各出力の遅延時間を設定することで、音の到達時間の違いを改善することができます。

#### この取扱説明書の見かた

##### ■ 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

##### ■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

# もくじ

## はじめに

特長	2
正しくお使いいただくためのご注意	4
各部の名称とはたらき	6
操作部	6
背面（接続端子部）	10
ミキサーコントローラー (PS-MR50)	12

## 設置をする

本機を設置する	14
PS-MR50（別売）を設置する	14
PS-MR50（別売）の設置手順	14
step1：リアカバーに I/F 基板を取り付ける	15
step2：CN709 端子と I/F 基板を接続する	16
step3：PS-MR50 の接続端子部を移動する	17
step4：PS-MR50 を固定する	18
step5：本機と PS-MR50 を接続する	18

## 接続をする

接続コネクタおよびケーブルについて	19
MONO INPUT/OUTPUT の接続	19
REMOTE I/O 端子の接続 (D-SUB 25P)	19
システム接続例	20
会議室設置例	20
体育館設置例	21
非常放送設備との接続	22
パワーコントローラー (PS-P32-B/H) との接続	22

## システム設定の準備

デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時の設定状態	23
オートミキサー (AUTO MIXER)	23
サラウンド (SURR)	23
ハウリングプレッサー	23
アナウンスミュート	23
INPUT EQ (入力イコライザー)	23
MATRIX (マトリックス)	23
COMP (コンプレッサー)	23
OUT EQ (アウトプットイコライザー)	24
DELAY (ディレイ)	24
OUT1/2、OUT3/4 出力形式選択	24
OUT1/2 フェーダーリンク	24
CC コンバーター	24
リモートイン (外部制御入力)	24
リモートアウト (外部制御出力)	25
パターンメモリー	25
システム設定準備の手順	26

## その他

保証とアフターサービス	27
仕様	28
デジタルミキサー (PS-DM700)	28
ミキサーコントローラー (PS-MR50/別売)	29
ブロック図	30

## 正しくお使いいただくため のご注意

### 保管および使用場所

- 次のような場所に置かない  
誤動作や故障原因になります。
  - ・ 許容動作温度 (5℃～40℃) 範囲外の 暑いところや寒いところ
  - ・ 許容動作湿度 (30%～85%) 範囲外の湿気の多いところ
  - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ
  - ・ トランシーバーや携帯電話など電波が発生する機器の近く
  - ・ ほこりや砂の多いところ
  - ・ 振動の激しいところ
  - ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - ・ 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

### 取り扱いについて

- 機器を重ねて使用しない  
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 通風孔をふさがない  
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本機を横倒し、逆さまの状態でご使用しないでください。
- 本機の上に物を置かない  
テレビモニターのような重いものや、本機からはみ出るような大きなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてケガの原因になることがあります。
- 本機の上に乗らない、ぶら下がらない  
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。
- 本機の上に水の入ったもの (花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など) を置かない  
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れない  
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

### お手入れについて

- 本機はやわらかい布でふいてください。  
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

### 移動について

- 移動するときは接続コード類を外す  
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

### 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源スイッチを切ってください。

### 電源スイッチの ON (入)、OFF (切) について

- 電源を入れるときはパワーアンプの電源を最後に入れてください。  
また、電源を切るときはパワーアンプの電源を最初に切ってください。  
電源入/切時のノイズによるスピーカーの破損を防止できます。

### 電源コードについて

- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない。  
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

### 配線について

- 電源コードやスピーカー線などの電力線とマイクケーブルの信号線はできるだけ離して設置してください。信号線に電線からのノイズや誘導による影響があり、本来の性能が悪化する原因となります。

### 音量について

- 大音量で長時間つづけて聴きすぎない。
  - ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
  - ・ はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。  
音量は徐々に上げてください。

---

## 電源を入れる前の 入力 / 出力音量フェーダーつまみ、 出力音量つまみの位置について

- 電源を入れる前に、入力 / 出力音量フェーダーつまみと出力音量つまみの位置を最小位置（目盛 0 の位置）にしてください。  
最小位置で電源を入れた後に音量を調節できるようになります。

---

## 取扱説明書・ユーザーズガイドに ついて

- 取扱説明書（本書）  
操作部の名称と機能、接続端子、仕様などの基本的な操作や接続を説明しています。
- ユーザーズガイド（付属の CD-ROM）  
「サウンドコーディネーター」を使用して、本機（PS-DM700）のシステム設定を行なう方法を html ファイルで収録しています。  
「サウンドコーディネーター」インストール後は、パソコンから閲覧することができます。  
本機のデジタルエフェクト機能を有効に利用するために、必ずご覧ください。  
設定を行なわない場合は、工場出荷時状態で動作します。  
(☞ 23 ページ)

### 「サウンドコーディネーター」とは

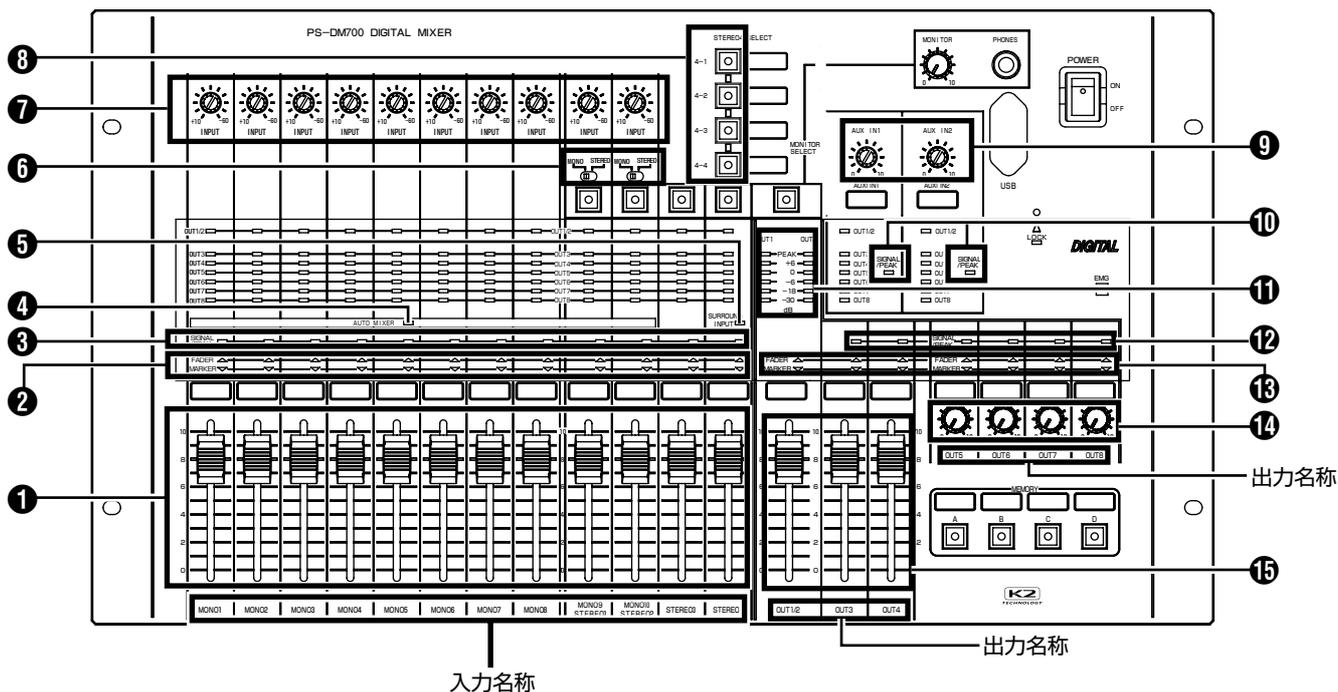
- デジタルミキサー（PS-DM700）に搭載しているデジタルエフェクト機能やコントロール機能をパソコンから設定するためのソフトウェアの名称です。

# 各部の名称とはたらき

## 操作部

### 用語について

フェーダーロック時音量： ロックスイッチを ON にしたときの、フェーダつまみおよび出力音量つまみの位置の音量。  
 パターンメモリー音量： パターンメモリーに格納している音量。



### モノラル / ステレオ入力部

① [MONO1 ~ 8]、[MONO9 STEREO1]、  
 [MONO10 STEREO2]、[STEREO3、4]  
 入力フェーダーつまみ  
 入力音量を調節します。

#### ご注意

- 本機背面の入力端子に外部機器を接続していない入力部のフェーダーつまみは最小位置（目盛 0 の位置）にしてください。

② [FADER MARKER] フェーダーマーカー表示  
 ● 下記の操作を行なったとき、実際に出力されている音量と  
 ① 入力フェーダーつまみ位置の差を表示します。  
 ・ ④ ロックスイッチを ON（ロック表示灯が赤色に点灯）にしたとき。  
 ・ パターンメモリーに格納しているフェーダーつまみ位置を呼び出したとき。

- ▲：実際に出力されている音量（フェーダーロック時音量またはパターンメモリー音量）が、① 入力フェーダーつまみの音量より大きいときに点灯（オレンジ色）。
- ▼：実際に出力されている音量（フェーダーロック時またはパターンメモリー音量）が、① 入力フェーダーつまみの音量より小さいときに点灯（緑色）。

- ④ ロックスイッチを OFF にすると、① 入力フェーダーつまみで音量を変更できます。

#### ご注意

- ④ ロックスイッチを ON から OFF にするとき、① 入力フェーダーつまみをパターンメモリー音量と一致する位置に動かすと、フェーダーマーカー表示が消灯し、① 入力フェーダーつまみで音量を調節できるようになります。

#### メモ

- 「サウンドコーディネーター」のフェーダーロックボタンを OFF に設定しておく、④ ロックスイッチを ON にしても、フェーダーロックボタンを OFF に設定したフェーダーつまみはロックされません。

### ③ 【SIGNAL/PEAK】 入力信号ランプ

③ MONO INPUT 1～10 端子、④ STEREO INPUT 1～3 端子、⑤ STEREO INPUT 4-1～4-4 端子への入力信号レベルを表示します。

緑色に点灯：適正に信号入力されている状態。

赤色に点灯：信号が過大入力されている状態。

赤色に点灯しないレベルに ⑦ 入力トリムつまみで調節してください。(MONO INPUT のみ)

※ STEREO INPUT については、接続機器でレベル調節を行なってください。

### ④ 【AUTO MIXER】 オートミキサー表示ランプ

- 本機操作部の "MONO1～MONO10" を、オートミキサー機能 (P. 23 ページ) ON にすると点灯します。
- オートミキサー機能は「サウンドコーディネーター」で設定します。  
設定方法については、付属の CD-ROM をご覧ください。

### ⑤ 【SURROUND INPUT】 サラウンド表示ランプ

- 本機操作部の "STEREO4" を、サラウンドモード (P. 23 ページ) にすると点灯します。
- サラウンドモードは「サウンドコーディネーター」で設定します。  
設定方法については、付属の CD-ROM をご覧ください。

### ⑥ 【MONO, STEREO】 入力モード切換スイッチ

"MONO9, STEREO1", "MONO10, STEREO2" 入力端子を、モノラル入力端子またはステレオ入力端子のどちらかに設定するため切り換えます。

### ⑦ 【INPUT】 入力トリムつまみ

MONO1～10 端子への入力感度を、+10 (感度小)～-60 (感度大) の範囲で調節します。

#### ご注意

- 入力感度を上げる (つまみを右側にまわす) 場合、ゆっくりとつまみをまわしてください。  
急にまわすと、音量が急激に大きくなり接続機器が破損する原因となります。

#### メモ

- "MONO9, STEREO1", "MONO10, STEREO2" を、⑥ 入力モード切換スイッチで「STEREO」に設定している場合、このつまみは機能しません。

### ⑧ 【STEREO4 SELECT】

#### STEREO4 入力端子選択スイッチ

- STEREO4-1～4-4 の入力を切り換えます。
- STEREO4 がサラウンドモードに設定されている場合、このスイッチは機能しません。

#### AUX 入力部

### ⑨ 【AUX IN1, AUX IN2】 AUX 入力音量調節つまみ

AUX IN1, AUX IN2 の入力音量を 1 (小)～10 (大) の間で調節します。

### ⑩ 【SIGNAL/PEAK】 AUX1, 2 入力信号ランプ

⑩ AUX1, 2 入力端子への入力信号レベルを表示します。

緑色に点灯：適正に信号入力されている状態。

赤色に点灯：信号が過大入力されている状態。

赤色に点灯しないレベルに ⑨ AUX 入力音量調節つまみで調節してください。

#### 出力部

### ⑪ 【OUT1/2】 出力レベルメーター

OUT1, OUT2 の出力信号のレベルを表示します。

### ⑫ 【SIGNAL/PEAK】 OUT 出力信号ランプ

⑫ ミキサー出力 3～8 端子の出力信号レベルを表示します。

緑色に点灯：適正に信号出力されている状態。

赤色に点灯：信号が過大出力されている状態。

赤色に点灯しないレベルに調節してください。

### ⑬ 【FADER MARKER, VOLUME MARKER】

#### フェーダーマーカー表示、ボリュームマーカー表示

- 下記の操作を行なったとき、実際に出力されている音量と ⑭ 出力音量つまみおよび ⑮ 出力音量フェーダーつまみ位置の差を表示します。

・ ⑭ ロックスイッチを ON (ロック表示灯が赤色に点灯) にしたとき。

・ パターンメモリーに格納しているフェーダーつまみ位置を呼び出したとき。

▲：実際に出力されている音量 (フェーダーロック時音量またはパターンメモリー音量) が、⑭ 出力音量つまみおよび ⑮ 出力音量フェーダーつまみの音量より大きいときに点灯 (オレンジ色)。

▼：実際に出力されている音量 (フェーダーロック時音量またはパターンメモリー音量) が、⑭ 出力音量つまみおよび ⑮ 出力音量フェーダーつまみの音量より小さいときに点灯 (緑色)。

- ⑭ ロックスイッチを OFF にすると、⑭ 出力音量つまみおよび ⑮ 出力音量フェーダーつまみで音量を変更できます。

#### ご注意

- ⑭ ロックスイッチを ON から OFF にするとき、⑭ 出力音量つまみおよび ⑮ 出力音量フェーダーつまみの位置を、パターンメモリー音量と一致する位置に動かすと、フェーダーマーカーおよびボリュームマーカーが消灯し、⑭ 出力音量つまみおよび ⑮ 出力音量フェーダーつまみで音量を調節できるようになります。

#### メモ

- 「サウンドコーディネーター」のフェーダーロックボタンを OFF に設定しておく、⑭ ロックスイッチを ON にしても、フェーダーロックボタンを OFF に設定したフェーダーつまみはロックされません。

### ⑭ 【OUT5～8】 出力音量つまみ

OUT5～8 の出力音量を調節します。

### ⑮ 【OUT1/2, OUT3, OUT4】 出力音量フェーダーつまみ

OUT1～4 の出力音量を調節します。

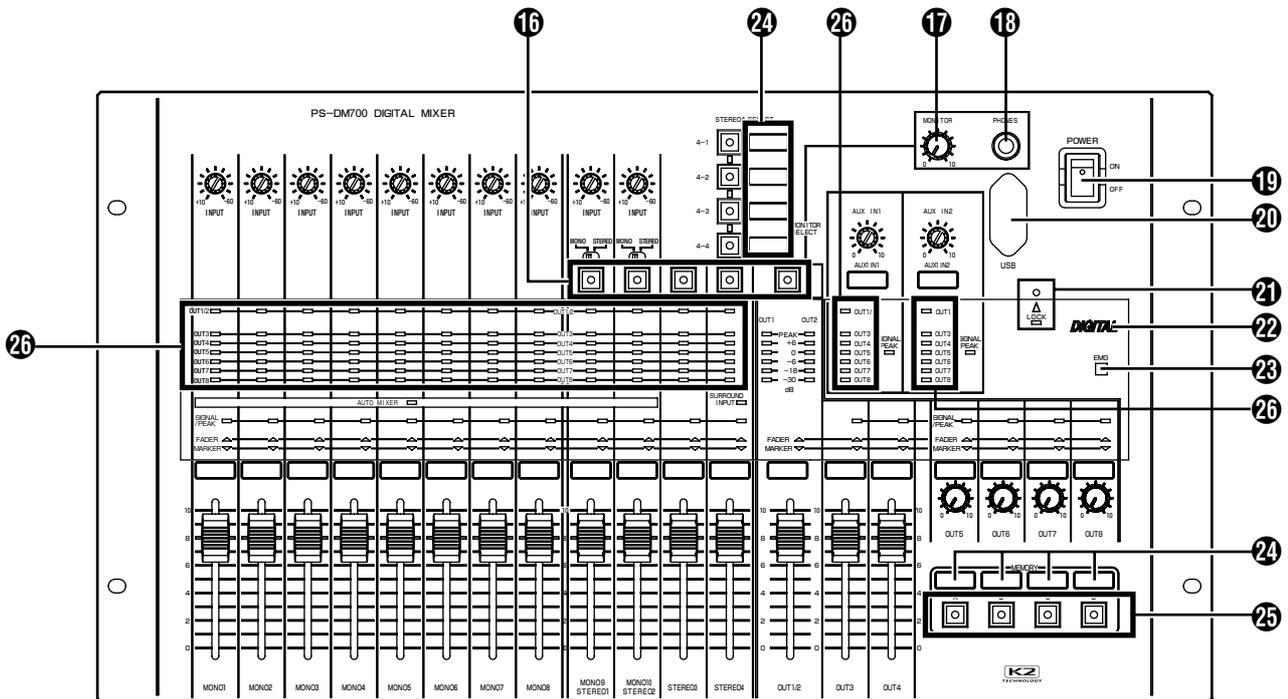
# 各部の名称とはたらき (つづき)

## 操作部 (つづき)

### 用語について

フェーダーロック時音量： ロックスイッチを ON にしたときの、フェーダつまみおよび出力音量つまみの位置の音量。

パターンメモリー音量： パターンメモリーに格納している音量。



### モニター出力部

- 16** 【MONITOR SELECT】 モニター選択ボタン
  - MONO9/STEREO1、MONO10/STEREO2、STEREO3、STEREO4、OUT1/2 を選択してモニターできます。
  - OUT1/2は出力フェーダーの後の信号をモニターします。STEREOは入力フェーダーの前の信号をモニターします。
- 17** 【MONITOR】 モニター音量調節つまみ  
モニター音量を調節します。
- 18** 【PHONES】 ヘッドホン端子
  - ヘッドホンでモニターするときを使用します。
  - 背面の **20** モニター出力端子と同一信号が出力されます。

### その他

- 19** 【POWER】 電源スイッチ  
電源 ON/OFF スイッチです。
- 20** 【USB】 USB 端子 (USB Type B)  
「サウンドコーディネーター」によるシステム設定時に使用します。  
「サウンドコーディネーター」の設定方法については、付属の CD-ROM をご覧ください。

### ご注意

- **20** RS232C 端子と同時に使用することはできません。  
**20** USB 端子が優先されます。

## ⑳ 【LOCK】 ロックスイッチ、ロック表示灯

- 先端の細い棒でロックスイッチを押し、ロック表示灯が赤色に点灯すると、フェーダつまみの動作が無効になります。再度ロックスイッチを押しとロックが解除され、ロック表示灯が消灯します。
- ロックすると、ロックスイッチを押したときのフェーダつまみの位置の音量に固定されます。
- ロック時に本機の電源を切り、再度電源を入れると、電源を切ったときに適用していたパターンメモリの音量になります。
- ロック解除時のフェーダーつまみの位置が、フェーダーつまみの動作を無効にしたときと位置が異なる場合には、フェーダーマーカーが点灯します。フェーダーつまみの動作を無効にしたときの位置と一致する位置に動かすと、フェーダーマーカーは消灯し、フェーダーつまみで音量を調節できるようになります。
- ロックスイッチを ON にしても、「サウンドコーディネーター」でロックを適用しないように設定することができます。詳細は付属の CD-ROM をご覧ください。
- ロックする場合は、フェーダーつまみで音量を調節したあとに「サウンドコーディネーター」でパターンメモリに格納してご使用ください。

## ㉑ 【DIGITAL】 電源表示ランプ

- ⑩ 電源スイッチを ON にすると、「DIGITAL」の文字が青色に点灯します。

## ㉒ 【EMG】 緊急遮断表示ランプ

非常放送設備などから信号入力があった場合、赤色に点灯し、すべての出力信号を遮断します。

## ㉓ パターン名表示部

- パターンの名称を表示する場所です。
- 各スイッチに割り当てたパターンの名称を、ラベルテープなどでシールを作成して貼り付けてください。表示部のサイズは、幅 6 mm、長さ 16 mm です。

## ㉔ 【MEMORY A、B、C、D】

### パターンメモリ切替スイッチ

- 約 2 秒間長押しすると、押したスイッチに割り当てられたパターンが呼び出され、設定されたパラメーターに瞬時に切り換わります。切り換えたとき、すべての出力信号は一瞬（約 1 秒）遮断されます。
- 各スイッチへのパターン設定は「サウンドコーディネーター」で行います。

#### ■ 工場出荷時設定

A : パターン 1    B : パターン 2  
C : パターン 3    D : パターン 4

## ㉕ マトリックスランプ

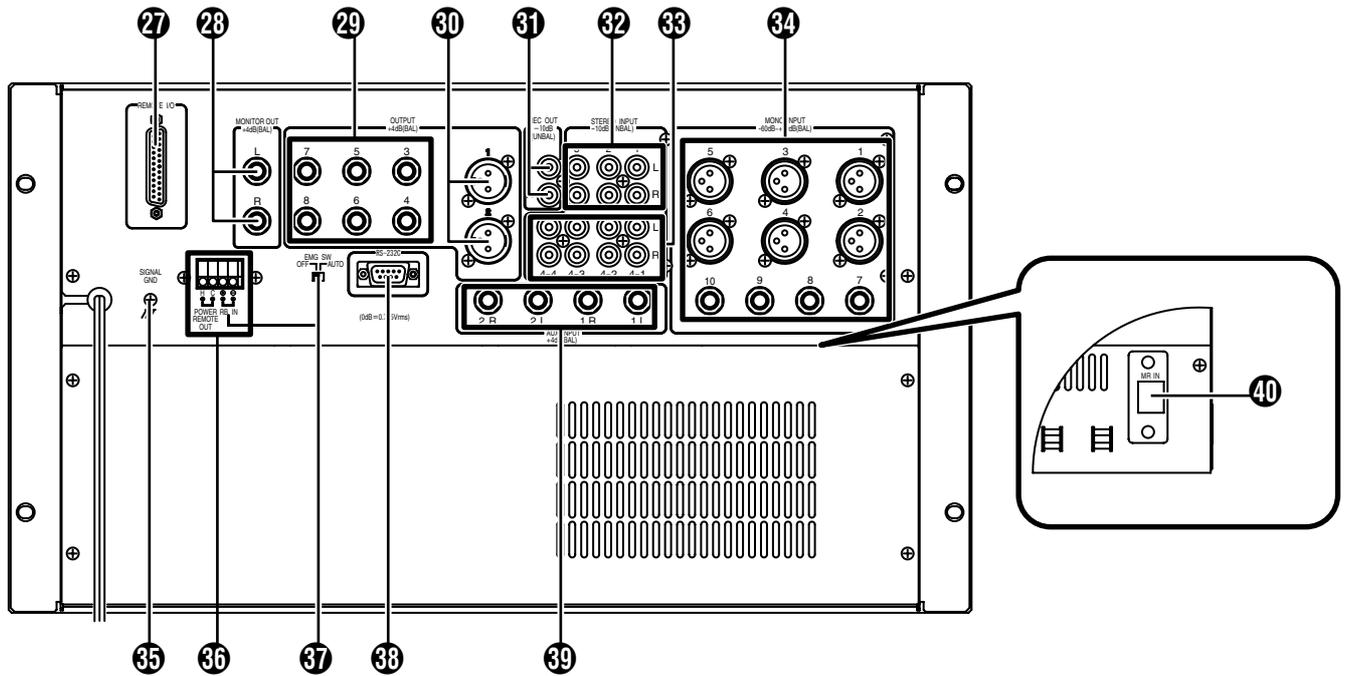
- 各入力端子から出力される系統を表示します。
- 設定は「サウンドコーディネーター」で行います。

### ご注意

- 本機背面の入力端子に外部機器を接続していない入力部のマトリックスランプは、「サウンドコーディネーター」で設定を行い、消灯させてください。

## 各部の名称とはたらき (つづき)

### 背面 (接続端子部)



**27** 【REMOTE I/O】 リモートイン / アウト端子  
(D-SUB 25P メス)

外部パターン選択やパターンごとの出力として使用します。  
(☞ 19 ページ)

**28** 【MONITOR OUT L/R】 モニター出力端子 L/R  
(φ6.3 複式フォンジャック +4 dB/10 kΩ 電子平衡)

モニター出力端子です。

⑩ ヘッドホン端子と同一の信号が出力されます。

**29** 【OUTPUT 3 ~ 8】 ミキサー出力 3 ~ 8 端子  
(φ6.3 複式フォンジャック +4 dB/10 kΩ 電子平衡)

OUTPUT 3 ~ 8 ミキサー出力です。

パワーアンプなどを接続します。

**メモ**

- 接続コネクタ、ケーブルの詳細については、19 ページをご覧ください。

**30** 【OUTPUT 1、2】 ミキサー出力 1、2 端子  
(XLR-3-32 相当コネクタ +4 dB/10 kΩ 電子平衡)

OUTPUT 1、2 ミキサー出力です。

パワーアンプなどを接続します。

**31** 【REC OUT】 録音用出力端子

(RCA ステレオピンジャック -10 dB/10 kΩ 不平衡)

カセットデッキなどへの録音用出力端子です。

マトリクス OUT 1/2 に割り付けた入力信号が出力されます。

**32** 【STEREO INPUT 1 ~ 3】ステレオ入力 1 ~ 3 端子  
(RCA ステレオピンジャック -10 dB/10 kΩ 不平衡)

- カセットデッキや CD プレーヤーなどのステレオ出力機器を接続します。
- ステレオ入力 1、2 端子は、⑥ 入力モード切換スイッチが "STEREO" 側になっているときのみ有効です。

### 33 【STEREO INPUT4-1 ~ 4-4】

#### ステレオ入力 4-1 ~ 4-4 端子

(RCA ステレオピンジャック -10 dB/10 kΩ 不平衡)

- カセットデッキや CD プレーヤーなどのステレオ出力機器を接続します。
- ⑩ STEREO4 入力端子選択スイッチで選択した端子のみ有効です。

#### メモ

- サラウンドモード (P. 23 ページ) に設定している場合の入出力機器の接続について。

AV コントロールアンプからの 5.1CH サラウンド信号を拡声する場合、入力端子として STEREO4-1 ~ 4-3 端子を使用します。サラウンドモードのときの入出力の関係は下表のとおりです。

機能名	入力端子	出力端子
FRONT L	STEREO INPUT 4-1 L	OUTPUT 1
FRONT R	STEREO INPUT 4-1 R	OUTPUT 2
CENTER	STEREO INPUT 4-2 L	OUTPUT 5
LFE	STEREO INPUT 4-2 R	OUTPUT 6
SURROUND L	STEREO INPUT 4-3 L	OUTPUT 7
SURROUND R	STEREO INPUT 4-3 R	OUTPUT 8

### 34 【MONO INPUT 1 ~ 10】

#### モノラル入力 1 ~ 10 端子

(1 ~ 6 端子 : XLR-3-31 相当コネクタ、7 ~ 10 端子 : φ6.3 複式フォンジャック -60 dB ~ +10 dB/4.7 kΩ 電子平衡)

- マイクホンなどのモノラル出力機器を接続します。
- モノラル入力9、10端子は、⑥ 入力モード切換スイッチが " MONO " 側になっているときのみ有効です。

#### メモ

- 接続コネクタ、ケーブルの詳細については、19 ページをご覧ください。

### 35 【SIGNAL GND】 接地端子

システムのシャーシアースを取るとき使用します。

安全アースではありません。

### 36 端子台

非常放送設備およびパワーコントローラー (PS-P32-B/H, 別売) を接続します。

(P. 22 ページ)

### 37 【EMG SW】 非常放送設備連動スイッチ

AUTO : ⑩ 端子台の RB+、RB- に接続した非常放送設備による出力音声遮断の連動ができます。

非常放送設備が起動すると、本機は出力音声を遮断し、④ 緊急遮断表示ランプが点灯します。

OFF : 連動動作を行いません。

### 38 【RS-232C】 RS-232C 端子

(D-SUB 9P オス)

パソコンを接続し、「サウンドコーディネーター」で設定をするときに使用します。

#### ご注意

- 本機操作部の ⑩ USB 端子と同時に使用できません。⑩ USB 端子が優先されます。

### 39 【AUX INPUT 1L/R, 2L/R】 AUX1,2 入力端子

(φ6.3 複式フォンジャック -10 dB/10 kΩ 電子平衡)

定時放送機器や外部増設ミキサーなどを接続します。

### 40 【MR IN】 ミキサーコントローラー (PS-MR50)

接続端子取付部 (RJ-45 モジュール)

別売のミキサーコントローラー (PS-MR50) を使用する場合、ミキサーコントローラー (PS-MR50) に付属の I/F 基板を取り付ける場所です。

(P. 14 ページ)

#### ご注意

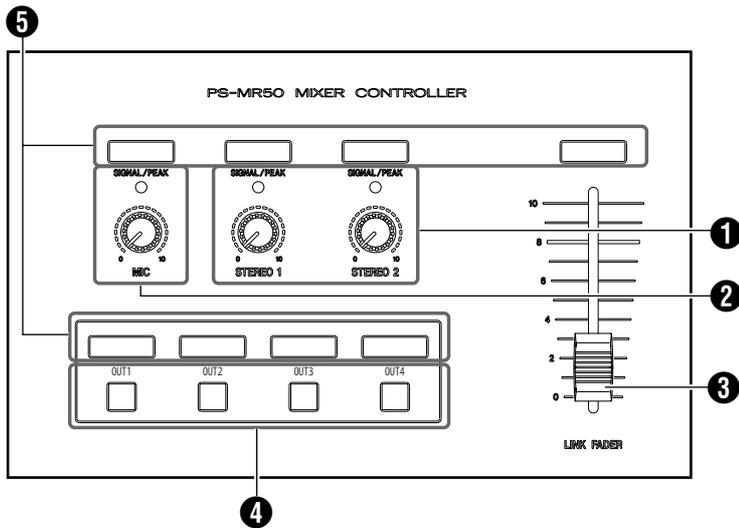
- 取り付けには、専門知識が必要となります。お買い上げの販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。

## 各部の名称とはたらき (つづき)

### ミキサーコントローラー (PS-MR50)

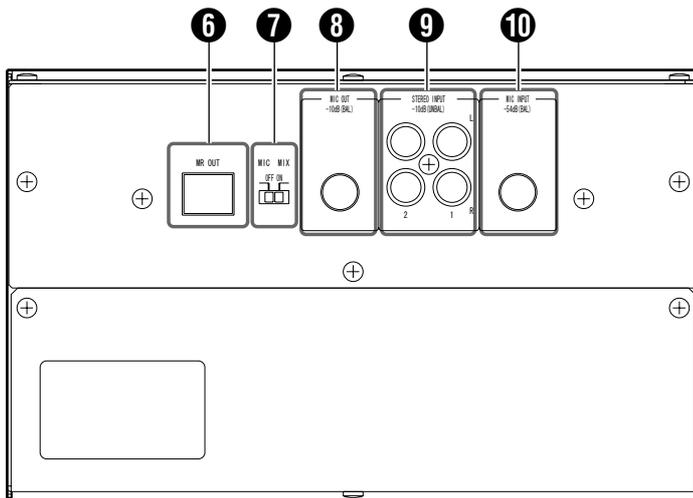
ミキサーコントローラー (PS-MR50/ 別売) を使用する場合、本機 (PS-DM700) の内部接続が必要です。  
内部接続作業については、お買い上げの販売店または最寄のサービス窓口へご相談ください。

#### ■ 操作部



#### ■ 接続端子部

設置する場所により、接続端子部を移動することができます。(参照 17 ページ)



### ① 【STEREO 1、2】、【SIGNAL/PEAK】

ステレオ 1、2 音量調節ボリューム /  
ステレオ 1、2 入力信号ランプ

- 本機に接続する CD プレーヤー、カセットデッキなどの音量を調節します。
- SIGNAL/PEAK ランプが赤色に点灯した場合は、入力レベルが過大です。緑色に点灯するように調節してください。

### ② 【MIC】、【SIGNAL/PEAK】 マイク音量調節ボリューム / マイク出力信号ランプ

- 本機に接続したマイクロホンの音量を調節します。
- SIGNAL/PEAK ランプが赤色に点灯した場合は、入力レベルが過大です。緑色に点灯するように調節してください。

### ③ 【LINK FADER】 リモート音量フェーダーつまみ

- PS-MR50 を接続した本機 (PS-DM700) の出力音量を調節します。
- 「サウンドコーディネーター」で PS-MR50 から音量調節できる出力先を設定します。

### ④ 【OUT1/2 ~ 7/8】 出力選択ボタン

- PS-MR50 の音声信号の出力先を選択します。  
約 1 秒間押すと、ランプが点灯して選択した出力系統に PS-MR50 からの信号が出力されます。  
再度約 1 秒間押すと、ランプが消灯し、信号が出力されなくなります。
- 複数の出力先を選択することもできます。
- 「サウンドコーディネーター」で、PS-MR50 のマイク信号のみまたはステレオ信号のみを選択することもできます。

#### メモ

- 出力選択ボタンは、「サウンドコーディネーター」の "SW LINK" の設定によって、選択できる入力異なります。

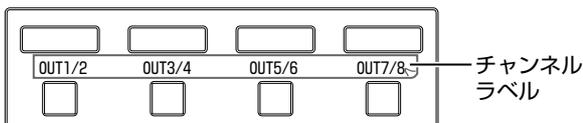
SW LINK "OFF" 時 : マイク入力、ステレオ入力を出力。

SW LINK "ON" 時 : マイク入力を出力。ステレオ入力は「サウンドコーディネーター」のマトリックス画面で出力選択できます。

- PS-MR50 の④出力選択ボタンと本機の出力端子は下記のように対応しています。

PS-MR50 ④ 出力選択ボタン	本機 (PS-DM700) 出力端子
OUT1	OUT1/2
OUT2	OUT3/4
OUT3	OUT5/6
OUT4	OUT7/8

- 出力選択表示の上に、本機付属のチャンネルラベルを貼ってご使用ください。



### ⑤ 名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。

ラベルテープなどでシールを作成し、貼り付けてご使用ください。

表示部のサイズは、幅 18 mm × 高さ 6 mm です。

### ⑥ 【MR OUT】 デジタル信号入出力端子

(RJ-45 モジュラー)

- PS-MR50 のデジタル信号入出力端子です。
- 本機との接続ケーブルは、ストレート結線のシールド付カテゴリ 5 (STP) を使用してください。  
ケーブル長は 100 m 以下で使用してください。

### ⑦ 【MIC MIX】 マイクミックス ON/OFF スイッチ

マイクロホン信号とステレオ信号を混合 (MIX) して本機へ送出するときは "ON" にします。

このとき、PS-MR50 に接続しているマイクロホンにはハウリングブレッサー機能を使用できません。

### ⑧ 【MIC OUT】 マイク出力端子

(複式フォンジャック -10 dB/10 kΩ 電子平衡)

- マイクロホンの信号が出力されます。
- PS-MR50 接続のマイクロホンにハウリングブレッサー機能を有効にするときは、本機の MONO INPUT へ平衡接続します。このとき、⑦ マイクミックス ON/OFF スイッチは "OFF" に設定してください。
- PS-MR50 の④出力選択ボタンでマイクロホンの出力先を設定できます。出力先の設定は「サウンドコーディネーター」で行います。

#### ご注意

- マイク出力端子から PS-DM700 へ接続するケーブルについては、グラウンドを切ったものをご使用ください。

### ⑨ 【STEREO INPUT 1、2】

ステレオ入力 1、2 端子

(RCA ステレオピンジャック -10 dB/10 kΩ 不平衡)

CD プレーヤー、カセットデッキなどを接続します。

### ⑩ 【MIC INPUT】 マイク入力端子

(φ6.3 複式フォンジャック -54 dB/4.7 kΩ 電子平衡)

平衡型マイクロホンを複式フォンプラグで接続します。

#### ご注意

- 不平衡フォンプラグ (単頭) は接続しないでください。  
マイクロホンの詳細については、ご使用のマイクロホンの取扱説明書をご覧ください。

#### メモ

- 接続コネクター、ケーブルの詳細については、19 ページをご覧ください。

## 本機を設置する

- EIA ユニバーサルピッチのラックケースに本機を取り付けます。
- ラックケースの取り付け位置を確認して、所定の場所へ取り付けてください。
- ラックケースへの取り付けは、付属のラックマウントねじ (M5) をご使用ください。

## PS-MR50 (別売) を設置する

### PS-MR50 (別売) の設置手順

#### ご注意

- 別売のミキサーコントローラー (PS-MR50) の I/F 基板を本機に取り付けるには、専門技術が必要です。I/F 基板を本機に取り付ける場合は、お買い上げ販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。
- 安全のため、必ず本機の電源コードを抜いてから作業を行なってください。

step1	リアカバーに I/F 基板を取り付ける。 (☞ 15 ページ) PS-MR50 を本機と接続するには、I/F 基板 (PS-MR50 に付属) を取り付けます。
step2	CN709 端子と I/F 基板を接続する。 (☞ 16 ページ) I/F 基板に取り付けたワイヤー ASSY を本機内部のメイン基板に接続します。
step3	PS-MR50 の接続端子部を移動する。 (☞ 17 ページ) 必要に応じて、接続端子部を移動することができます。
step4	PS-MR50 を固定する。(☞ 18 ページ) PS-MR50 にブラケット (PS-MR50 に付属) を取り付け固定します。
step5	本機と PS-MR50 を接続する。 (☞ 18 ページ) ストレート結線のシールド付カテゴリ 5 (STP) を使って、本機と PS-MR50 を接続します。

PS-MR50 の設置終了

## step1 : リアカバーに I/F 基板を取り付ける

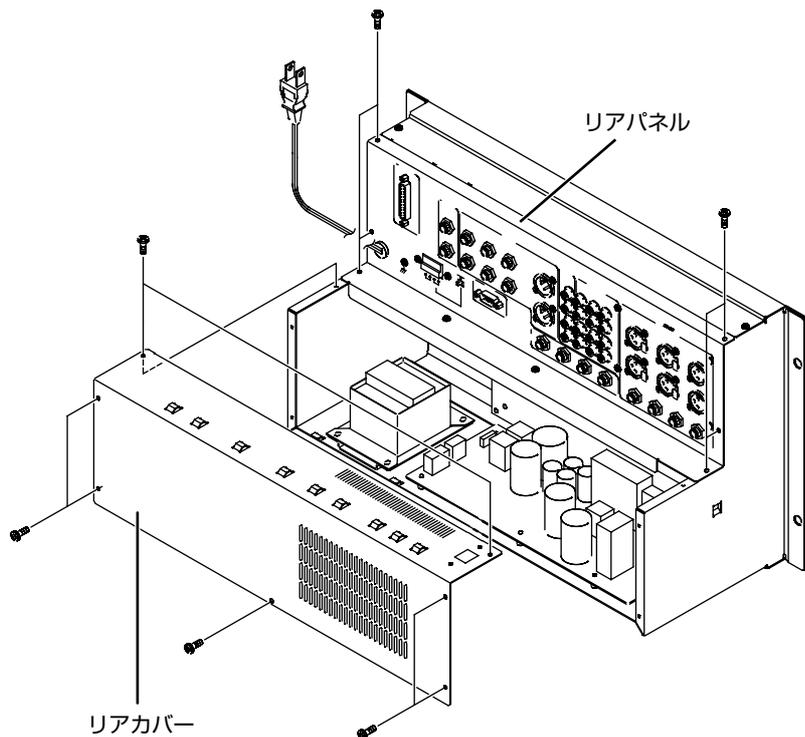
作業を行う前に、下記のものすべてそろっているかを確認します。

### ■ PS-MR50 の添付物・付属品一覧

- ・ I/F 基板 × 1
- ・ ワイヤークランプ × 2
- ・ ワイヤ ASSY × 1
- ・ スクリュー (M3) 銀色 × 2

#### 1. リアパネルとリアカバーのネジをはずす。

リアパネルを留めているネジ 6 本、リアカバーを留めているネジ 7 本をはずします。

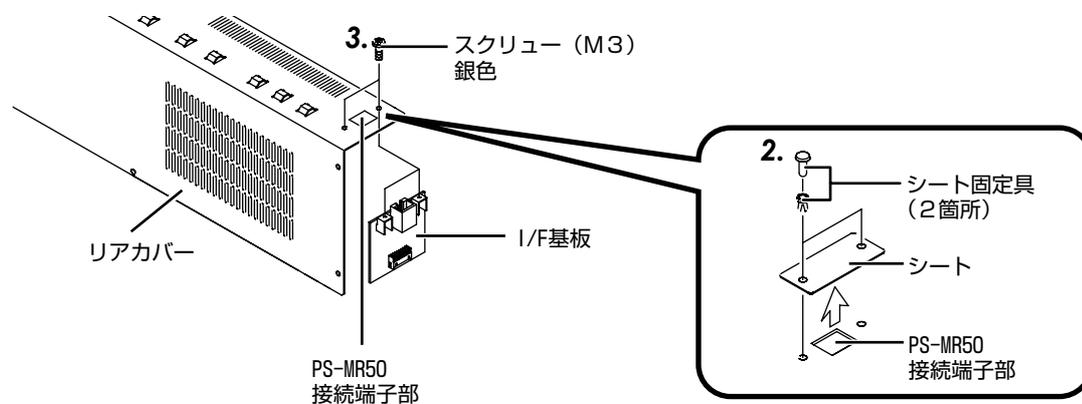


#### 2. リアカバーに取り付けられているシートを取りはずす。

下図を参考に、シート固定具 (2箇所) をリアカバーの裏側から押して取りはずします。

#### 3. I/F 基板をリアカバーに取り付ける。

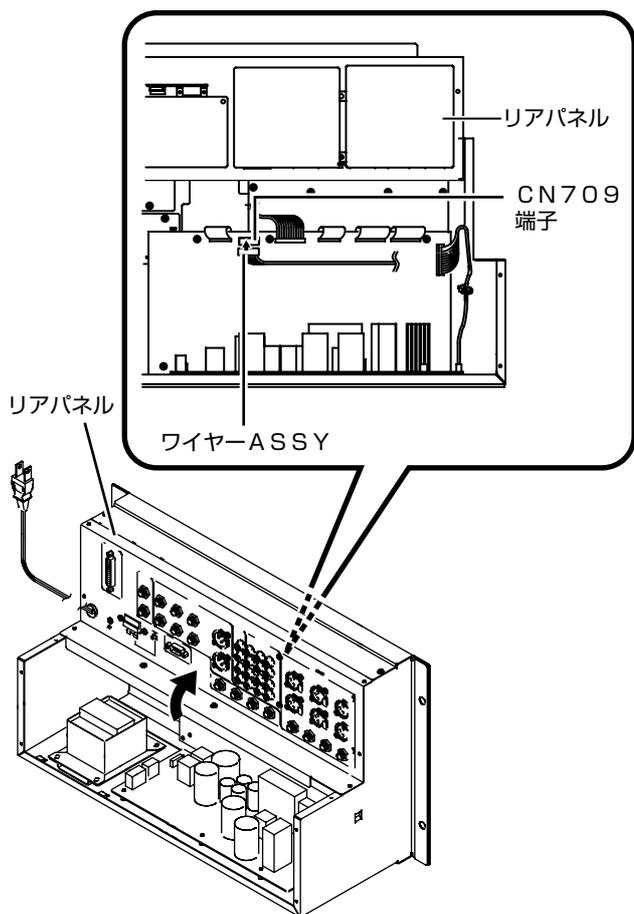
スクリュー (M3) 銀色 (PS-MR50 に付属) 2 本を使って、リアカバーに取り付けます。



## PS-MR50 (別売) を 設置する (つづき)

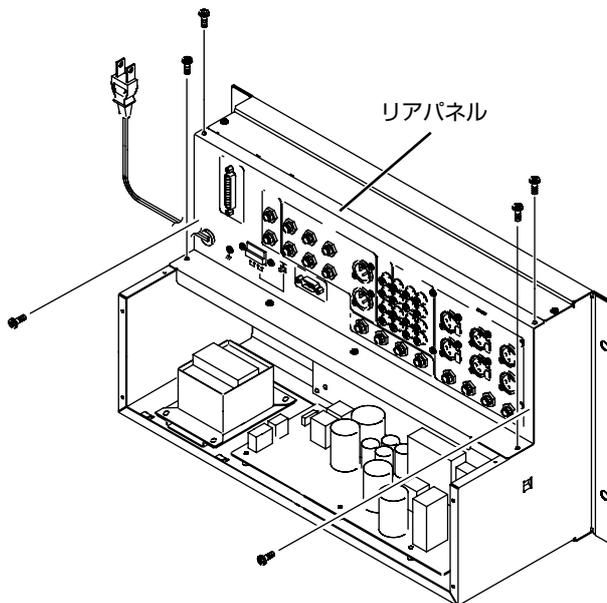
### step2 : CN709 端子と I/F 基板を接続する

1. CN709 端子にワイヤー ASSY を接続する。  
下図のようにリアパネルを持ち上げ、CN709 端子にワイヤー ASSY を接続します。



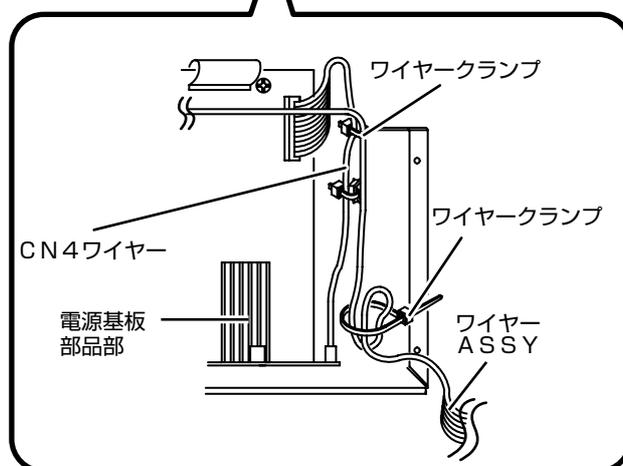
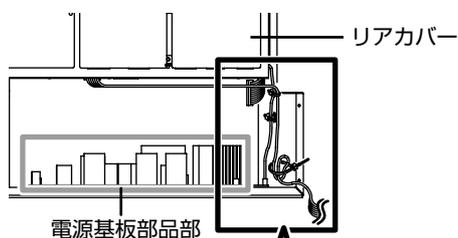
### 2. リアパネルを固定する。

step1 の手順 1. ではずしたネジを使って、リアパネルを固定します。



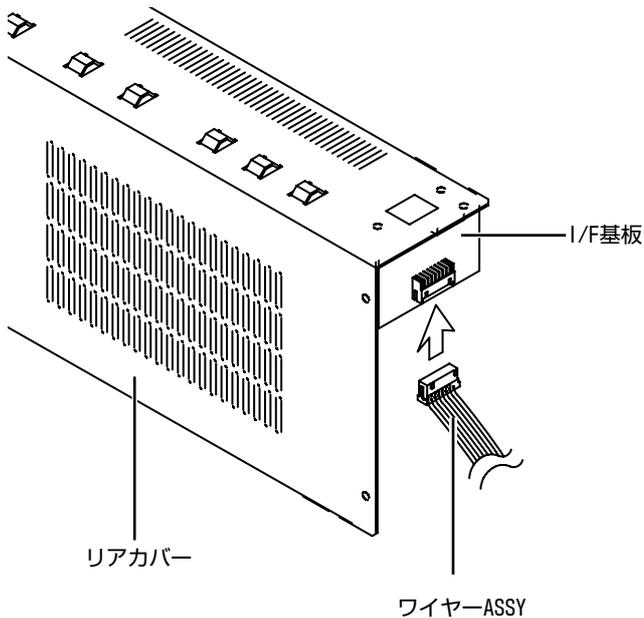
### 3. ワイヤー ASSY をワイヤークランプ (PS-MR50 に付属) で固定する。

- 下図を参考に、ワイヤー ASSY がたるまないように CN4 ワイヤーと一緒にワイヤークランプで固定してください。(2箇所)
- ワイヤークランプで固定した、ワイヤー ASSY と CN4 ワイヤーが本機内部の電源基板部品部に触れないように固定してください。



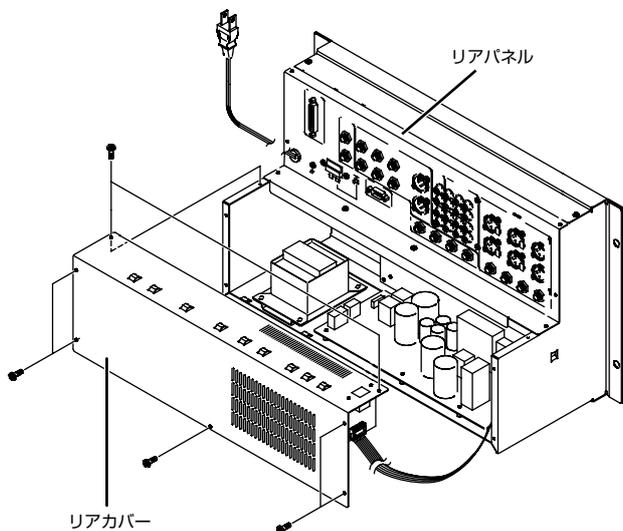
#### 4. I/F 基板にワイヤー ASSY を接続する。

下図を参考に、手順 1. で CN709 端子に接続したワイヤー ASSY を I/F 基板に接続します。



#### 5. リアカバーを固定する。

step1 の手順 1. ではずしたネジを使って、リアカバーを固定します。



### step3 : PS-MR50 の接続端子部を移動する

PS-MR50 は使用形態により接続端子部を移動できます。接続端子部を移動する場合は、下記の手順で作業をしてください。

#### 1. 移動先のブランクパネルをはずす。

下図を参考に、ブランクパネルのネジ(3箇所)をはずします。

#### 2. 接続端子パネルをはずす。

ブランクパネルをはずしたら、接続端子パネルのネジ(3箇所)をはずします。

#### 3. 接続端子パネルを移動する。

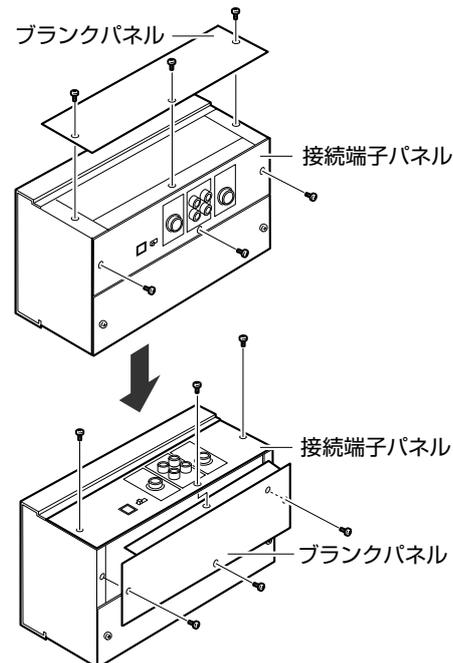
内部のワイヤーに注意して、接続端子パネルを移動先に移動します。

#### 4. ブランクパネルを接続端子パネルのあった位置に固定する。

ブランクパネルを接続端子パネルのあった位置に、手順 1. ではずしたネジ(3箇所)で固定します。

#### 5. 接続端子パネルを固定する。

手順 2. ではずしたネジ(3箇所)で固定します。



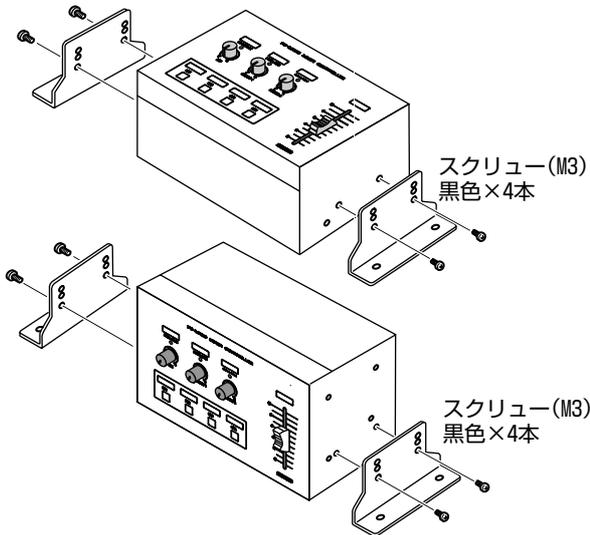
## PS-MR50 (別売) を設置する (つづき)

### step4 : PS-MR50 を固定する

- ミキサーコントローラー (PS-MR50) を固定するときは、PS-MR50 に付属のブラケットを使用して固定します。
- ブラケットは、取付位置により水平 : 10°、15° の角度調整が可能です。

#### メモ

- テーブルなどに埋め込み固定するときは、別売りのラックマウント金具 (PS-RU13) をご使用ください。

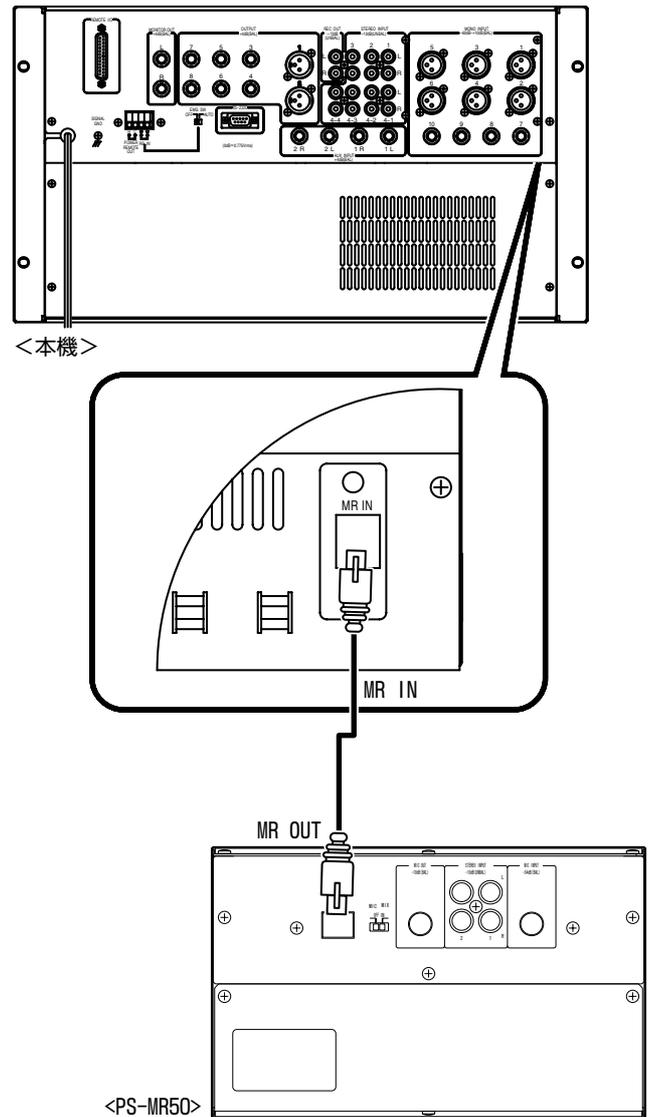


### step5 : 本機と PS-MR50 を接続する

本機と PS-MR50 を接続ケーブルを使って、下図のように接続します。

#### メモ

- 接続ケーブルは、ストレート結線のシールド付カテゴリ 5 (STP) を使用してください。



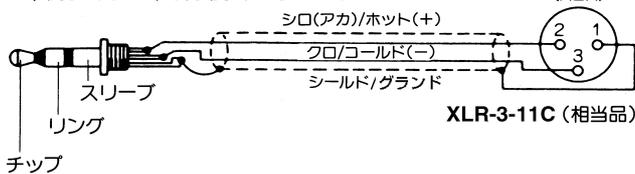
## 接続コネクタおよびケーブルについて

接続には、特殊な技術を必要としますので、お買い上げ販売店または最寄のサービス窓口にご依頼ください。

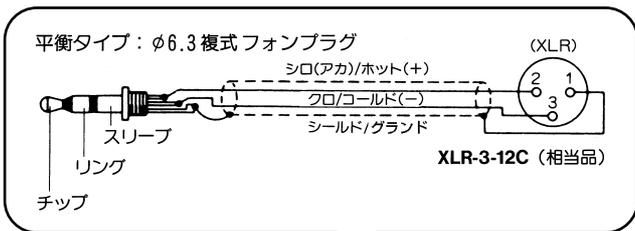
### MONO INPUT/OUTPUT の接続

- マイクロホンなどは平衡タイプをご使用ください。
- MONO INPUT7～10に接続するケーブルを製作するときは、下図を参考にして平衡接続してください。

- 平衡タイプ：φ6.3 複式フォンプラグ

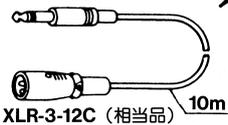


- 入力コネクタが XLR コネクタのパワーアンプを OUTPUT3～8 に接続する場合は、下図を参考にして製作してください。



#### CN-5003 フォンプラグ

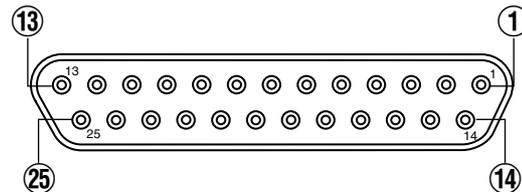
- φ6.3 複式



### REMOTE I/O 端子の接続 (D-SUB 25P)

- 接続ワイヤーには、AWG24 のより線をご使用ください。ケーブル長は最大 50 m です。
- 入力制御は、パターン選択入力1～8端子とGNDを短絡すると、「サウンドコーディネーター」でそのメモリーに設定したパターンに切り換わります。
- リモートアウト 1～8 端子は、「サウンドコーディネーター」の端子設定でリモートアウト端子を設定すると、パターンごとに出力されます。(オープンコレクター出力：最大 35 V, 30 mA)

#### ■ D-SUB 25P (オス) ピン配置



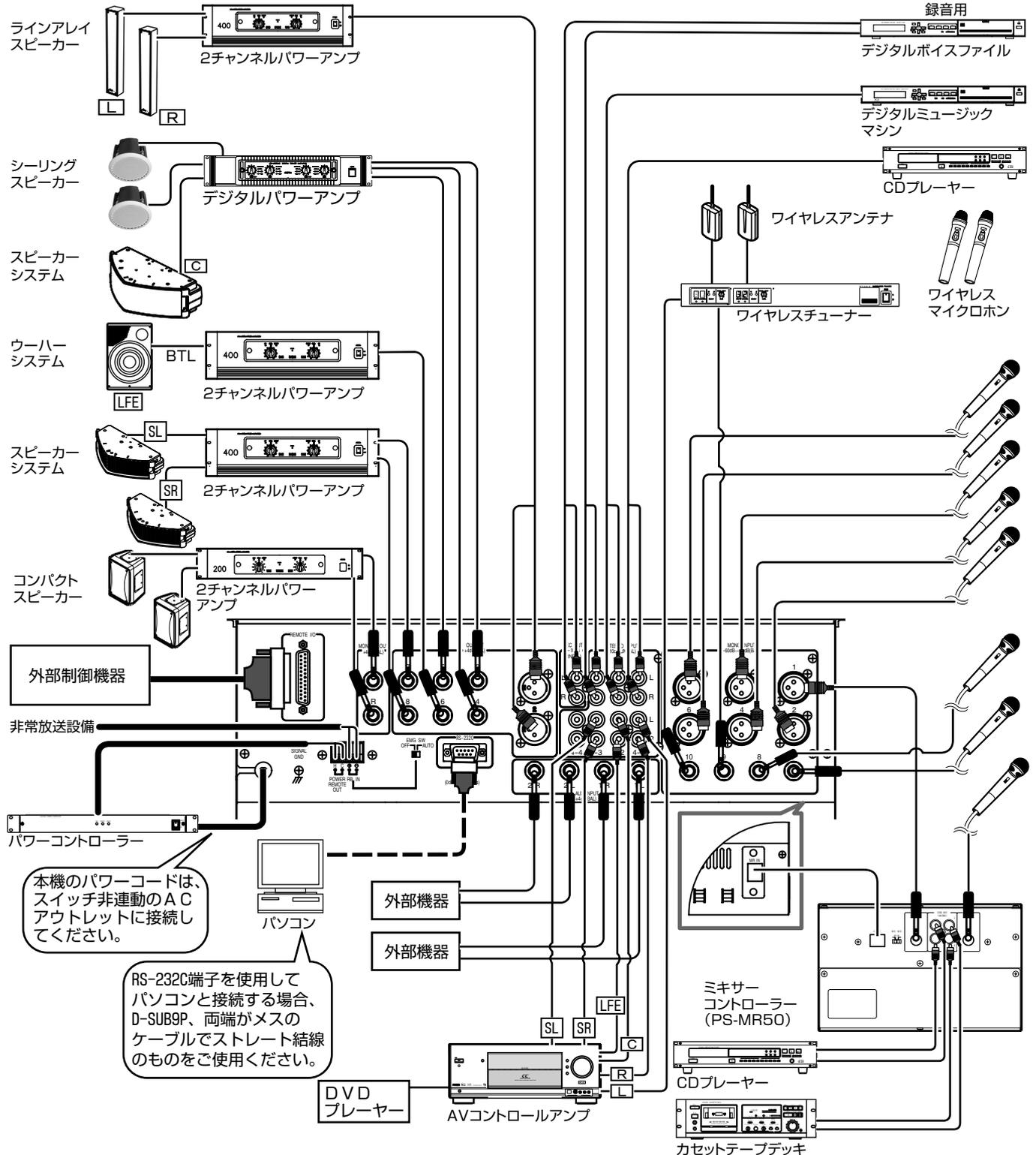
ピン番号	内容	ピン番号	内容
1	GND	14	リモートアウト 1
2	GND	15	リモートアウト 2
3	パターン選択入力 1	16	リモートアウト 3
4	パターン選択入力 2	17	リモートアウト 4
5	パターン選択入力 3	18	リモートアウト 5
6	パターン選択入力 4	19	リモートアウト 6
7	パターン選択入力 5	20	リモートアウト 7
8	パターン選択入力 6	21	リモートアウト 8
9	パターン選択入力 7	22	GND
10	パターン選択入力 8	23	GND
11	GND	24	未接続
12	GND	25	未接続
13	GND		

# システム接続例

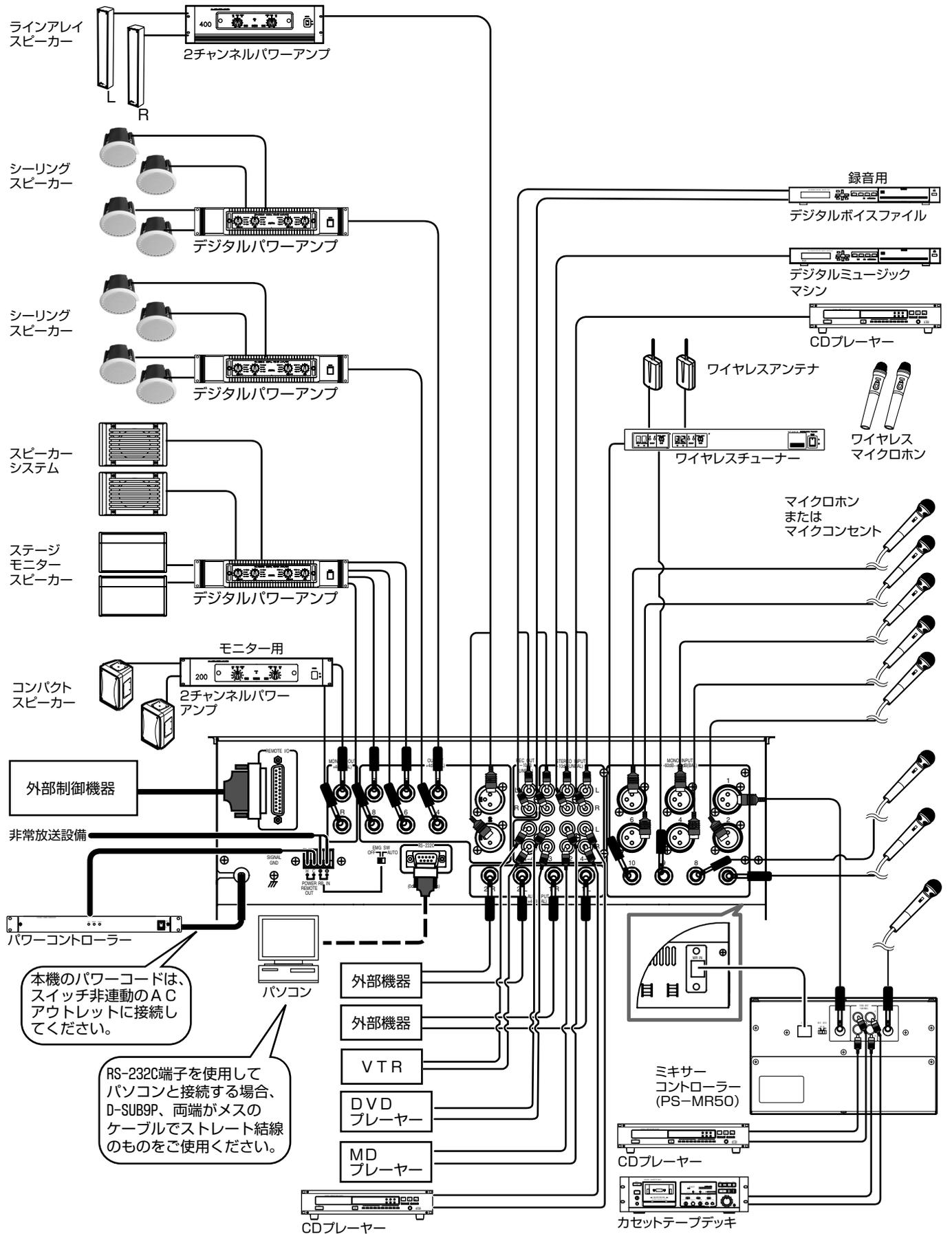
## サラウンド機能名

- L : FRONT L
- R : FRONT R
- C : CENTER
- LFE : LOW FREQUENCY EFFECT
- SL : SURROUND L
- SR : SURROUND R

## 会議室設置例

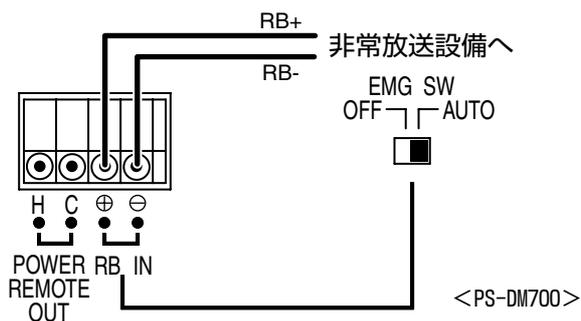


# 体育館設置例



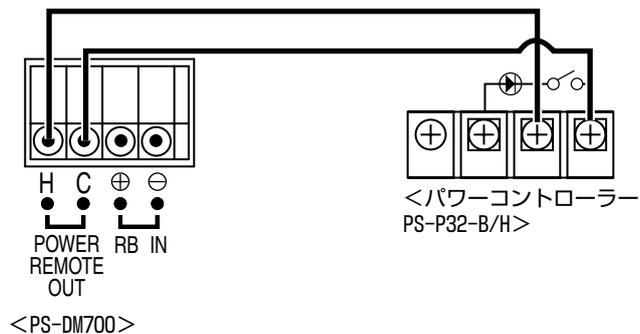
## 非常放送設備との接続

- 非常放送設備との連動ができます。  
下図を参考に、本機の”RB IN ⊕”端子と非常放送設備のRB+、”RB IN ⊖”端子とRB-を接続してください。
- 本機の非常放送設備連動スイッチを”AUTO”側にしてください。  
非常放送設備が起動したとき、本機は自動的に音声遮断し、EMGランプが点灯します。



## パワーコントローラー (PS-P32-B/H) との接続

本機の電源スイッチでパワーコントローラー (PS-P32-B/H) の電源を入れることができます。  
下図を参考に接続してください。



### メモ

- パワーコントローラー(PS-P32-B/H) の接続可能台数は、最大で 1 台です。

## デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時の設定状態

- 本機に搭載されているデジタルエフェクト機能についての説明です。
- 本機に付属のCD-ROMに収録されているシステム設定用ソフトウェア「サウンドコーディネーター」を使用することで詳細に設定できます。

### オートミキサー (AUTO MIXER)

- 複数のマイクロホンを使うときに発生する暗騒音(アナウンスしていないときのノイズ)を低減する機能です。
  - すべてのマイクロホンを通常の拡声レベルに調節しておき、「サウンドコーディネーター」でオートミキサー機能を「ON」にします。
  - 設定の詳細は「ユーザズガイド」をご覧ください。
- (工場出荷時：OFF)

### サラウンド (SURR)

- STEREO4入力の4-1～4-3を使用してサラウンドの信号を拡声します。
- 機能と入出力の関係は下表のとおりです。

機能名	入力端子	出力端子
FRONT L	STEREO INPUT4-1 L	OUTPUT 1
FRONT R	STEREO INPUT4-1 R	OUTPUT 2
CENTER	STEREO INPUT4-2 L	OUTPUT 5
LFE	STEREO INPUT4-2 R	OUTPUT 6
SURROUND L	STEREO INPUT4-3 L	OUTPUT 7
SURROUND R	STEREO INPUT4-3 R	OUTPUT 8

- 5.1CH サラウンド信号を拡声するときにお使いください。

(工場出荷時：OFF)

### ハウリングプレッサー

- 音場の残響特性、伝送特性など固有のハウリング周波数や抑圧レベルを分析し、プリセットフィルター4素子を設定することで音場固有のハウリングを抑制します。
- 自動計測は「サウンドコーディネーター」から実行します。
- システム使用中にハウリングが発生すると、2素子のアクティブフィルターが自動的に追従(自動計測)し、ハウリングを抑制します。

(工場出荷時：すべてON)

### アナウンスミュート

- 指定した MONO INPUT に音声信号が入ると、選択したステレオ入力信号(CDプレーヤーやカセットデッキなど)の音量を自動的にミュート(減衰 0 dB～30.2 dB)し、目的のアナウンスを明瞭に放送することができます。
  - アナウンスミュートを起動する MONO INPUT の指定、ミュート量を設定します。
  - MONO INPUT の信号が入力されなくなると、指定した時間(0秒～6秒 0.5秒ステップ)後、自動的に元の音量に戻ります。
  - STEREO4 がサラウンドに設定されているときに、この機能は STEREO4 の入力信号には働きません。
- (工場出荷時：OFF)

### INPUT EQ (入力イコライザー)

- 入力信号の音質を調節することができます。
- MONO INPUT、STEREO INPUT に搭載しています。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ	工場出荷時
HIGH シェルピング タイプ EQ	カットオフ 周波数 (F)	20 Hz～18 kHz, 1/6 oct step	10 kHz
	利得 (G)	-15 dB～+15 dB, 0.5 dB step	0 dB
MID ピーキング タイプ EQ	中心周波数 (F)	20 Hz～18 kHz, 1/6 oct step	2 kHz
	尖鋭度 (Q)	0.5, 0.7, 1.0, 1.5, 2.0, 2.5, 3.0, 3.5, 4.0, 4.5, 5.0, 6.0, 7.0, 8.0, 9.0, 10.0, 12.0, 15.0, 20.0	0.7
	利得 (G)	-15 dB～+15 dB, 0.5 dB step	0 dB
LOW シェルピング タイプ EQ	カットオフ 周波数 (F)	20 Hz～18 kHz, 1/6 oct step	100 Hz
	利得 (G)	-15 dB～+15 dB, 0.5 dB step	0 dB

(工場出荷時：ON)

### MATRIX (マトリックス)

MONO INPUT, STEREO INPUT, AUX INPUT, PS-MR50 の出力システムを設定します。

(工場出荷時：すべてON)

### COMP (コンプレッサー)

- 過大な音声信号を抑制します。
  - MONO INPUT、OUT1～4 に搭載されています。
- 下表のどれかを設定できます。

機能名	設定範囲とステップ
Threshold	0～18 dB, 1 dB ステップ
Ratio	1.4:1, 2:1, 4:1, 10:1, ∞:1
Attack	0 ms, 2 ms, 4 ms, 8 ms, 16 ms, 32 ms
Release	50 ms, 100 ms, 200 ms, 400 ms, 800 ms, 2000 ms

(工場出荷時：OFF)

## デジタルエフェクト機能の概要と工場出荷時の設定状態 (つづき)

### OUT EQ (アウトプットイコライザー)

- パワーアンプ、スピーカーシステム、音場などの特性に対応させる出力イコライザーです。
- 6 素子のイコライザーを出力系統ごとに搭載しています。6 素子を以下のイコライザー形式から個別に選択できません。

イコライザー形式	パラメーター	設定範囲とステップ
ピーキング EQ	中心周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step
	尖鋭度 (Q)	0.5, 0.7, 1.0, 1.5, 2.0, 2.5, 3.0, 3.5, 4.0, 4.5, 5.0, 6.0, 7.0, 8.0, 9.0, 10.0, 12.0, 15.0, 20.0
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB, 0.5 dB step
LOW シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB, 0.5 dB step
HIGH シェルビングタイプ EQ	カットオフ周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step
	利得 (G)	-15 dB ~ +15 dB, 0.5 dB step
ローカットフィルター (LCF-12 dB)	カットオフ周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step
ハイカットフィルター (HCF-12 dB)	カットオフ周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step
ローカットフィルター (LCF-24 dB)	カットオフ周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step 素子 1 と素子 6 のみに搭載
ハイカットフィルター (HCF-24 dB)	カットオフ周波数 (F)	20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct step 素子 1 と素子 6 のみに搭載

(工場出荷時：素子 1 ~ 6 " ピーキング EQ" ON)

#### ピーキング EQ 初期設定

パラメーター： 中心周波数

素子 1; 40 Hz, 素子 2; 100Hz,  
素子 3; 400 Hz, 素子 4; 1 kHz,  
素子 5; 4 kHz, 素子 6; 10 kHz

尖鋭度 : 素子 1 ~ 6 ; 0.7

利得 : 素子 1 ~ 6 ; 0 dB

### DELAY (ディレイ)

サブスピーカーへの出力信号を、メインスピーカーの出力に対して時間の遅れを発生させ、音像を前方に定位させるなどのディレイ時間を設定します。

内蔵回路	設定範囲とステップ	工場出荷時
OUT1 ~ 8	0 ~ 300 ms, 1 ms step	0 ms

### OUT1/2 (MONO/STEREO)、OUT3/4 (MONO/STEREO) 出力形式選択

- OUT1 と OUT2、OUT3 と OUT4 の出力形式をモノラルまたはステレオに選択指定します。
- OUT3/4 を " from OUT1/OUT2 STEREO" にしたとき、OUT3 は OUT1 (Lch)、OUT4 は OUT2 (Rch) の信号が出力されます。
- OUT1/2 をモノラルに設定した場合、OUT1/2 のレベルを個別に設定できるようになります。(0 dB ~ -20dB)  
(工場出荷時：OUT1/2 ステレオ、OUT3/4 モノラル)

### OUT1/2 フェーダーリンク

- OUT1/2 のフェーダーつまみで、OUT1 ~ 8 の音量を一括で制御できます。
- OUT3 ~ 8 の個別の音量は各つまみで設定します。  
(工場出荷時：OFF)

### CC コンバーター

CC コンバーターの動作を ON/OFF する必要がある場合に設定します。  
通常は、" ON" 状態で使用してください。  
(工場出荷時：ON)

#### CC コンバーターとは

"Compression Compensative Converter" の略で、デジタルデータから本来のアナログ信号の波形を類推し、それをリアルタイムに復元しながら再生する、当社独自開発の高音質化技術です。

### リモートイン (外部制御入力)

タイマー制御による自動放送や制御信号に対応した拡声パターン自動選択システムなどに利用できます。  
(工場出荷時：端子設定なし)

---

## リモートアウト (外部制御出力)

- パターンごとに、外部制御出力の ON/OFF を設定できます。
- 出力は、オープンコレクター (最大電圧 = 35 V, 最大許容電流 = 30 mA) の負論理出力です。制御する機器の仕様にご注意ください。

(工場出荷時：すべて OFF)

---

## パターンメモリー

- 最大 16 種類のパラメーターを設定し、メモリーに記憶します。そのうち任意のパラメーター 4 個をパターンセレクターに割り当てることができます。
- 任意のパラメーター 8 個をリモートインに設定できます。

(工場出荷時：設定なし)

## システム設定準備の手順

### ご注意

- 「サウンドコーディネーター」のインストールメニュー表示時、ユーザズガイド閲覧時に、セキュリティ保護のための警告画面が表示される場合があります。画面上のボタン操作を行えるように、下記のように対応を行ってください。
- アクティブコンテンツの警告画面が表示された場合、[はい] をクリックしてください。
- スクリプトや ActiveX の制限画面が表示された場合、[ブロックされているコンテンツを許可] をクリックしてください。

<b>Step1</b>	<b>「インストールガイド」を読む。</b> サウンドコーディネーターや USB ドライバーのインストール方法などが記載されています。インストールする前に必ずお読みください。 ※「インストールガイド」は、本機付属の CD-ROM に収録されています。
--------------	---



<b>Step2</b>	<b>「サウンドコーディネーター」をインストールする。</b> デジタルエフェクト機能などのパラメーター設定を行うには「サウンドコーディネーター」をインストールします。
--------------	---



<b>Step3</b>	<b>USB ドライバーをインストールする。</b> パソコンと本機を USB 端子で接続する場合に、USB ドライバーをインストールします。
--------------	--



<b>Step4</b>	<b>「ユーザズガイド」を読む。</b> デジタルエフェクト機能のパラメーター設定方法などの詳細が記載されています。設定を行う前に必ずお読みください。
--------------	--



<b>Step5</b>	<b>「サウンドコーディネーター」を起動する。</b> 本機の設定を行うときに起動します。
--------------	--



システム設定準備終了

## 保証とアフターサービス

### 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

### 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

### サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。  
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・業務用修理窓口 (045-939-7320)

### サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

### 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名 (型名) :	デジタルミキサー (PS-DM700) ミキサーコントローラー (PS-MR50)
お買い上げ日 :	
故障の状況 :	故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所 :	
お名前 :	
電話番号 :	

### 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

# 仕様

## デジタルミキサー (PS-DM700)

0 dB=0.775 Vrms

### ■ 入力部

- MONO INPUT 1 ~ 6 : -60 dB ~ +10 dB/5 kΩ  
電子平衡 (XLR-3-31 相当コネクタ)
- MONO INPUT 7 ~ 10 : -60 dB ~ +10 dB/5 kΩ  
電子平衡 (複式フォンジャック)
- MONO INPUT TRIM : -60 dB ~ +10 dB
- STEREO1 ~ 4 : -10 dB/10 kΩ  
不平衡ステレオピンジャック
- AUX1 ~ 2 : +4 dB/10 kΩ, L/R  
電子平衡 (複式フォンジャック)
- MONO/STEREO 切換 : MONO9/STEREO1,  
MONO10/STEREO2

### INPUT EQ (イコライザー)

- LOW : シェルビング、カットオフ周波数  
20 Hz ~ 20 kHz, 1/6 oct/step
- MID : ピーキング、中心周波数  
20 Hz ~ 20 kHz, 1/6 oct/step
- HIGH : シェルビング、カットオフ周波数  
20 Hz ~ 20 kHz, 1/6 oct/step

### MONO INPUT COMPRESSOR (コンプレッサー)

- THRESHOLD : 0 dB ~ 18 dB, 1 dB step
- RATIO : 1.4:1, 2:1, 4:1, 10:1, ∞:1
- ATTACK TIME : 0 ms, 2 ms, 4 ms, 8 ms, 16 ms,  
32 ms
- RELEASE TIME : 50 ms, 100 ms, 200 ms, 400 ms,  
800 ms, 2000 ms

- STEREO4 入力選択 : STEREO4-1 ~ 4-4, 選択
- ハウリングサプレッサー : 4 素子プリセットフィルター  
2 素子アクティブフィルター

### ■ 出力部

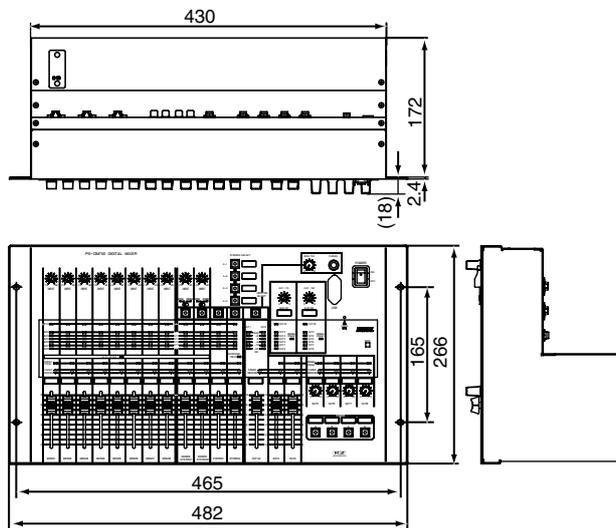
- OUT1 ~ 2 : +4 dB/10 kΩ  
電子平衡 (XLR-3-32 相当コネクタ)
  - OUT3 ~ 8 : +4 dB/10 kΩ  
電子平衡 (複式フォンジャック)
  - REC OUT(L/R) : -10 dB/10 kΩ  
不平衡ステレオピンジャック
  - MONITOR OUT(L/R) : +4 dB/10 kΩ  
電子平衡 (複式フォンジャック)
  - PHONES : -18 dB/16 Ω  
不平衡ステレオフォンジャック
  - DELAY TIME : 0 ms ~ 300 ms, 1ms step
- ### OUTPUT COMPRESSOR (コンプレッサー)
- THRESHOLD : 0 dB ~ 18 dB, 1 dB step
  - RATIO : 1.4:1, 2:1, 4:1, 10:1, ∞:1
  - ATTACK TIME : 0 ms, 2 ms, 4 ms, 8 ms, 16 ms,  
32 ms
  - RELEASE TIME : 50 ms, 100 ms, 200 ms, 400 ms,  
800 ms, 2000 ms

- OUTPUT EQ (イコライザー) : 6 素子  
中心周波数およびカットオフ周波数 ;  
20 Hz ~ 18 kHz, 1/6 oct/step  
ピーキング,  
ローカット (LCF-12 dB),  
ハイカット (HCF-12 dB),  
ローカット (LCF-24 dB),  
ハイカット (HCF-24 dB),  
LOW シェルビング,  
HIGH シェルビング

### ■ 総合仕様

- 周波数特性
  - MONO INPUT : 100 Hz ~ 10 kHz +0.5 dB -3 dB  
(1 kHz 基準)
  - STEREO INPUT : 20 Hz ~ 20 kHz +0.5 dB -1 dB  
(1 kHz 基準)
- 全高調波歪率 : 0.1 % 以下 (1 kHz)
- 入力換算雑音 : -126 dB 以下 TYPICAL (MONO  
INPUT、入力 150 Ω 短絡、IHF-A)
- 残留雑音 : -80 dB 以下 (全フェーダーMIN、DIN-A)
- クロストーク : -70 dB 以下 (7 kHz, 各入出力間)
- ミュート機能 : あり
- 外部入出力端子 : 入力 8 系統、出力 8 系統
- パソコン接続端子 : USB1.1, RS-232C(D-SUB9P)  
同時使用は不可
- 電源・消費電力 : AC100 V, 50 Hz/60 Hz, 30 W
- 外形寸法 : 482 mm × 266 mm × 172 mm  
幅×高さ×奥行き
- 質量 : 7.4 kg
- 添付物・付属品 : 取扱説明書 (本書) × 1  
CD-ROM × 1  
保証書 × 1  
安全上のご注意 × 1  
ラックマウントねじ (M5) × 4  
チャンネルラベル × 1

### ■ 外形寸法図 (単位: mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

# ミキサーコントローラー (PS-MR50/ 別売)

0 dB=0.775 Vrms

## ■ 入力部

MIC INPUT : -54 dB/2.2 kΩ  
電子平衡 (複式フォンジャック)

STEREO INPUT : -10 dB/10 kΩ, 2 回路  
不平衡ステレオピンジャック

## ■ 出力部

デジタル通信出力 : AUDIO;AES3, SYNC, DATA(RJ-45)  
(PS-DM700 接続端子)

MIC OUT : -10 dB/10 kΩ  
電子平衡 (複式フォンジャック)

## ■ 総合仕様

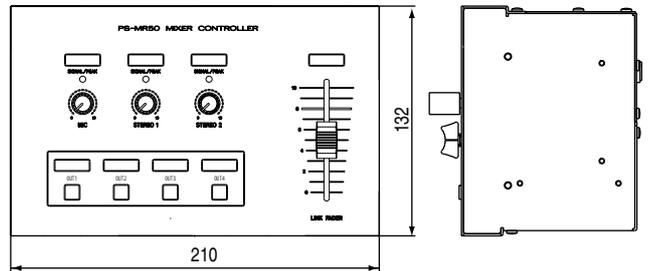
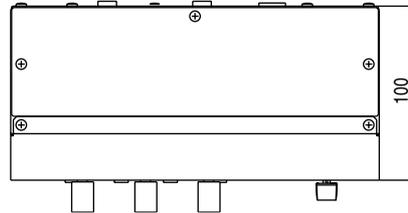
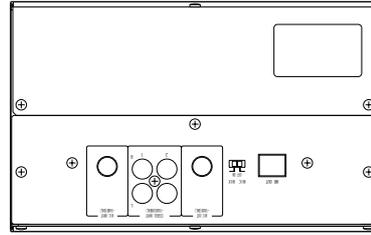
電源 : DC16 V  
デジタルミキサー (PS-DM700) より  
供給

外形寸法 : 210 mm × 132 mm × 100 mm  
幅×高さ×奥行き

質量 : 1.4 kg

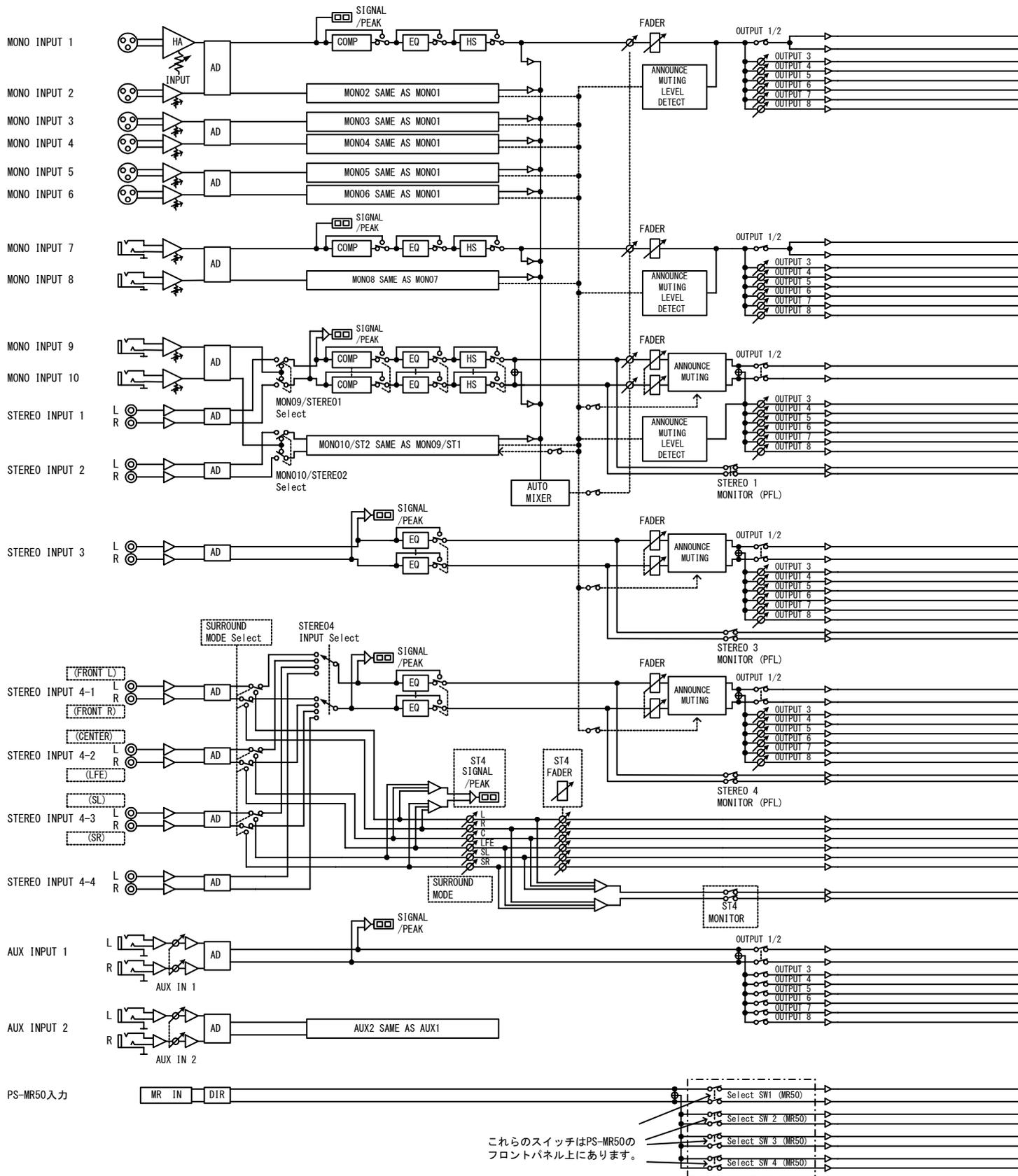
添付物・付属品 : 保証書× 1  
設置説明書× 1  
ブラケット× 2  
スクリュー (M3) 黒色× 4  
ウッドスクリュー (呼び径 3) × 4  
I/F 基板× 1  
ワイヤー ASSY × 1  
ワイヤー クランプ× 2  
スクリュー (M3) 銀色× 2  
フット× 4

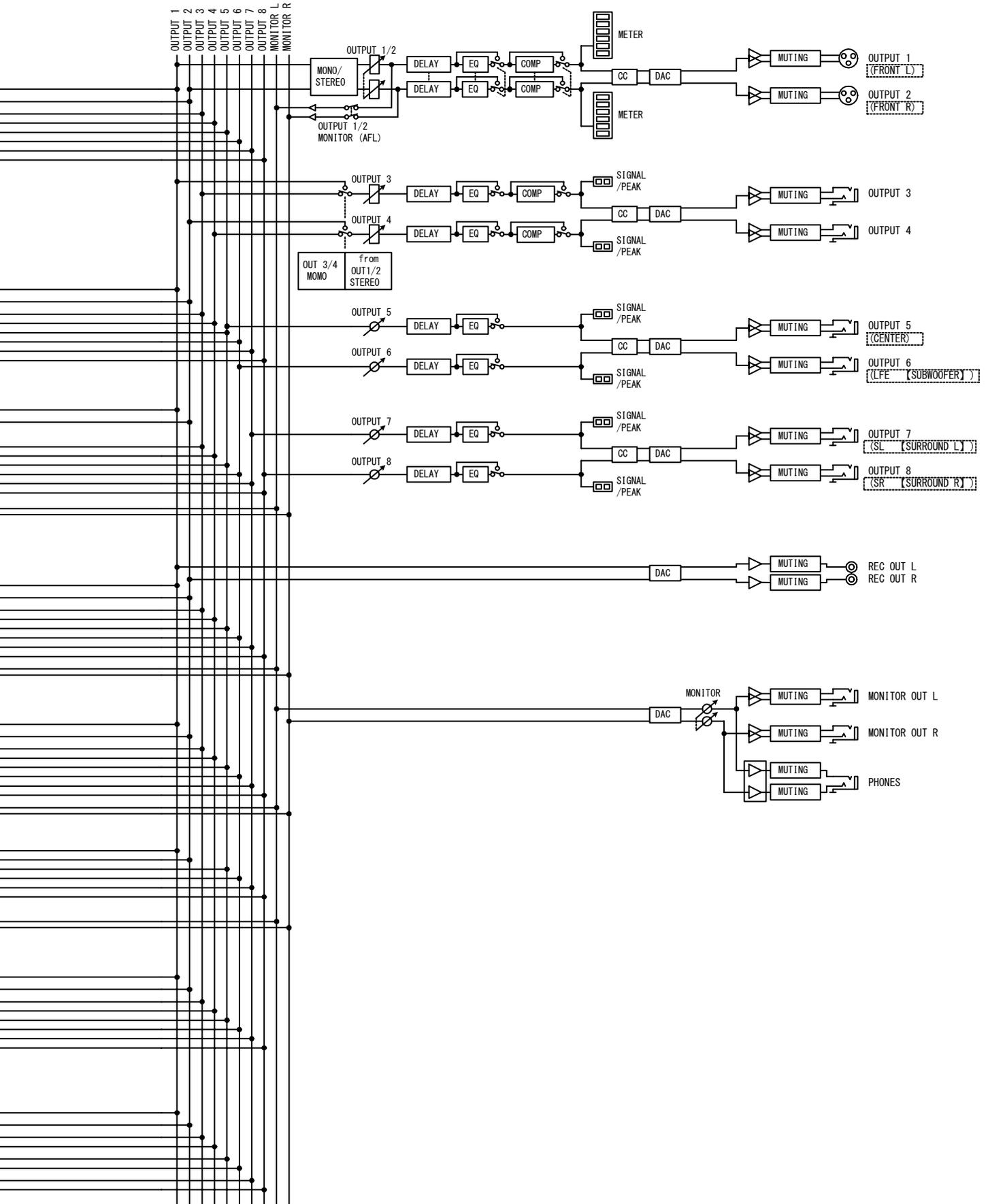
## ■ 外形寸法図 (単位 : mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

ブロック図





JVCケンウッド  
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12